

CSR Report 2013



CORPORATE SOCIAL RESPONSIBILITY
ETHICS COMPLIANCE
SAFETY HEALTH
ENVIRONMENT
QUALITY



AOI NEON Co.,Ltd.

CSRレポート 2013

CSRレポート 2013 について

本レポートは、当社のCSR全般についての考え方や具体的な取り組みをステークホルダーの皆様にはわかりやすく開示するための報告書であり、2003年度に第1号（環境報告書）を発行し、以後毎年度継続的に発行するものです。

■アオイネオンのCSRをご理解いただくために、CSRの考え方を明確に表現するとともに、出来る限り各項目ごとに方針（ポリシー）を記述し、取り組み事例を掲載しました。

■CSR活動をより具体的な形で開示するため、従業員のインタビューを掲載しました。

① 対象読者

お客様、お取引様、株主様、従業員、そして地域社会など、様々なステークホルダーの皆様。

② レポート対象範囲

アオイネオン(株)の全拠点（ただし、全項目について全事業所を網羅するわけではなく、テーマに基づいて代表的な事例を掲載しています。（数値データにはそれぞれの対象範囲を記載しています）

③ レポート対象期間

2012年度（2012年8月1日～2013年7月31日）とし、一部トピックスについては、それ以降の活動も掲載しています。

④ 発行時期

2013年12月（次回2014年12月予定）

⑤ 参考としたガイドライン

環境省「環境報告書ガイドライン」
環境省「環境会計ガイドライン」
ISO26000:2010

⑥ WEBサイトへの掲載

アオイネオンホームページでも本レポートの全内容を掲載するなど、積極的に開示を行います。

<http://www.aoineon.com>

外部サイトでもレポートの閲覧が出来ます。

・CSR JAPAN
・CSR 図書館 .net
・環境 goo CSR レポートナビ

Facebook ページでは、CSR活動をタイムリーに公開しています。

⑦ 本レポートへのご意見、お問い合わせ

静岡本社 管理部 TEL:054-282-1221
FAX:054-285-5089

アオイネオンの企業理念

心、情報、光にカタチに

私たちが考えるサインの第一目的は「情報を的確に伝える」ということです。そのうえで「広告主様の心が伝わるサイン」をつくることを目標としています。私たちは、お客様の「心」、「情報」をメーカーとして「光」「カタチ」にしていきます。

ギリシャ語のNEOS(新しい) から命名されたネオンの名の下に新たな価値創造にチャレンジし、環境問題やコンプライアンスなどへも積極的に取り組み、社会との共生・調和を念頭に、お客様をはじめとする全てのステークホルダーの皆様への満足と信頼を得られる企業を目指しています。

企業概要

社名 アオイネオン株式会社
創業 昭和26年8月
設立 昭和32年1月
資本金 5,750万円
従業員数 56名（男子45名・女子11名）
代表取締役社長 横山 巖
工場 静岡工場 東京工場
静岡本社 〒422-8076
静岡市駿河区八幡2-11-11
TEL 054-282-1221
東京本社 〒146-0082
東京都大田区池上3-6-16
TEL 03-3754-2111
大阪支店 〒541-0057
大阪市中央区北久宝寺町4-3-5 3F
TEL 06-6281-3621
業務内容 ネオン・広告塔・館内サイン
企画・設計・施工・検査診断



静岡本社・工場



東京本社・工場



大阪支店(本町サミットビル3F)

ISO26000「7つの中核主題」とアオイネオンの取り組み

社会的責任の中核主題と課題

組織が対処すべきもっとも起こりそうな
経済的、環境的及び
社会的な影響とそれらに関連する課題
(ISO26000:2010)



組織統治 組織統治



公正な事業慣行..... 課題① 汚職防止
課題② 責任ある政治的関与
課題③ 公正な競争
課題④ バリューチェーンにおける
社会的責任の推進
課題⑤ 財産権の尊重



環境 課題① 汚染の予防
課題② 持続可能な資源の利用
課題③ 気候変動の緩和および
気候変動への適応
課題④ 環境保護、生物多様性、
および自然生息地の回復



労働慣行 課題① 雇用および雇用関係
課題② 労働条件および社会的保護
課題③ 社会対話
課題④ 労働における安全衛生
課題⑤ 職場における人材育成および訓練



人権 課題① デューディリジェンス
課題② 人権に関する危機的状況
課題③ 加担の回避
課題④ 苦情解決
課題⑤ 差別および社会的弱者
課題⑥ 市民的および政治的権利
課題⑦ 経済的、社会的および文化的権利
課題⑧ 労働における基本的原則および権利



消費者課題 課題① 公正なマーケティング、
事実に即した偏りのない情報、
および公正な契約慣行
課題② 消費者の安全衛生の保護
課題③ 持続可能な消費
課題④ 消費者に対するサービス、支援、
ならびに苦情および紛争の解決
課題⑤ 消費者データ保護およびプライバシー
課題⑥ 必要不可欠なサービスへのアクセス
課題⑦ 教育および意識向上



コミュニティ への参画および
コミュニティ
の発展 課題① コミュニティへの参画
課題② 教育および文化
課題③ 雇用創出および技能開発
課題④ 技術の開発および技術へのアクセス
課題⑤ 富および所得の創出
課題⑥ 健康
課題⑦ 社会的投資

報告内容

目次

ページ

アオイネオンの企業理念	1
企業概要	1
コミュニケーションツールのご紹介	3
トップメッセージ	4
特集 1 CO₂ 排出ゼロの看板で低炭素社会づくりに貢献	
C・O・S®(カーボン・オフセット・サイン)	5
特集 2 看板の省電力化への取り組み	
省電力化の取り組み	7
特集 3 尊法性+安全性で事故を防ぎます	
看板診断システム『看板ドクター』®	9
「電子カルテ閲覧サービス」による看板管理の一元化	10

アオイネオンの CSR 経営	11
「企業倫理に関する方針」「行動規範」の制定	12
コンプライアンス方針に基づく企業活動の推進	12
社内体制	12
ライセンスレポートによるご説明	13
建設業許可と専任技術者	13
屋外広告業の登録	13
情報セキュリティ	14

アオイネオンの環境方針	15
環境マネジメントシステムへの取り組み	15
主な環境影響と保全活動	16
社内における環境教育の実施	16
2012 年度 環境目標に対する実績	17
環境会計	18

安全衛生委員会 2012 年度目標と結果	19
安全衛生委員会の主な活動と組織体制	19
安全パトロール	20
作業環境測定	20
緊急事態への対応	20
人材育成の考え方	21
「資格取得支援制度」で社員のプロフェッショナル化を支援	21
表彰制度	21
基本的人権の尊重に対する取り組み	22
ワーク・ライフ・バランスの推進	22

アオイネオンの品質方針	23
すべてのプロセスで品質保証を徹底	24
品質管理に関する監査	24
製品・サービスの品質に関する教育	24

東京都 共同違反広告除去活動	25
「小さな親切運動」への参加	25
「使用済み切手の収集活動」「書き損じハガキの収集活動」	26

コミュニケーションツールのご紹介

アオイネオンは、さまざまなかたちでステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを進めています。

企業活動全般について

会社案内



アオイネオンの目指す企業像、事業の現状を紹介する会社案内です。

総合的な情報について

ホームページ



アオイネオンに関する情報を幅広く紹介しています。

業務許認可・資格について

ライセンスレポート



ライセンスレポート
「建設業許可」編
「屋外広告業」編

お客様に安心してご発注して頂くために、工事に必要な許認可や資格についてご説明しております。

製品・サービスについて

アオイネオンショーケース



施工事例や新商品・サービスに関する情報を紹介しています。

CSR 活動について

CSR レポート



アオイネオンが果たす社会的責任について紹介するレポートです。



新しい CSR コミュニケーションの試みとして Facebook ページで CSR 活動をタイムリーに公開しておりますので是非ご覧ください。

Top Message



「美しい都市景観の創出」という 経営理念の具現化に向けて

CSRレポート2013の発行にあたり、ご挨拶申し上げます。

この10年余りの間にCSRは広く普及しました。それは大変素晴らしいことですが、一方でCSRが企業の単なるイメージアップ戦略になってしまったような気がします。

何のために取り組むのかという意義を見誤れば、総ては表層部分の辻褃合わせに終わってしまい、取り返しのつかない事態にも気づかない可能性があります。

私たちアオイネオンでは、この活動の満10年を節目とし、本年から「経営理念の具現化」という新しいフェイズに入りました。そこで、改めて基本を見直し、そして活動の意義と目標を明確にしたいと思います。

弊社では長年に亘り、社員のポリシーとして「嘘をつかない、正直な仕事」を掲げてきました。外部の方々には、泥臭く野暮ったい掛け声に聞こえたようですが、皮肉なことに昨今では重く価値あるものとして受け取って頂けるようです。このポリシーが私たちの会社に於ける総ての基本です。

そして、社員一人ひとりが、自分の仕事に誇りを持つこと、仕事を通じて社会に貢献しているという自負を持つこと、一人の社会人として正しく生きること、これが理想であり、その実現のために、CSRに取り組んでいるのです。

CSRの新しいフェイズとして目標とする経営理念は、「美しい都市景観の創出」です。今日の日本では、全国の看板の実に7割以上が違反です。このような実態が放置される限り、日本が世界に誇る都市景観を実現することはできません。景観を阻害する違反広告の駆逐と、順法な広告掲出の啓蒙、これが私たちに課せられた使命だと考えています。

小さな一步の積み重ねではありますが、私たちは怯むことなく目標に向かって進んで参ります。今後とも皆様のご指導ご支援を頂けますよう心からお願い申し上げます。

代表取締役社長

横山 巖

C・O・S® (カーボン・オフセット・サイン)

～看板点灯時のCO₂を最小限に、オフセットで継続的な環境配慮を実感～

Case1 浜松

(株)河合楽器製作所 屋上広告塔

リニューアルでLED採用により

消費電力 約87% 削減

省エネ改良後の排出CO₂

11.07t-CO₂をオフセット

CO₂排出ゼロ



Case2 東京

雪印メグミルク(株) 本社屋上広告塔

リニューアルでLED採用により

消費電力 約91% 削減

省エネ改良後の排出CO₂

22t-CO₂をオフセット

CO₂排出ゼロ



Case3 全国

(株)資生堂 チェインストア看板

看板内部の反射効率を改善し、蛍光灯本数の削減により

消費電力 約33% 削減

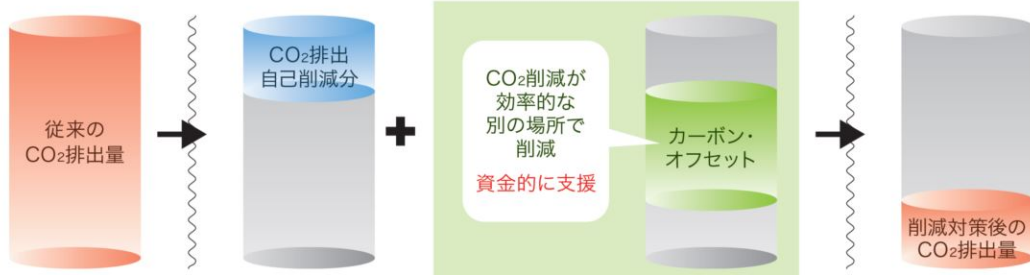
省エネ改良後の排出CO₂

651t-CO₂をオフセット

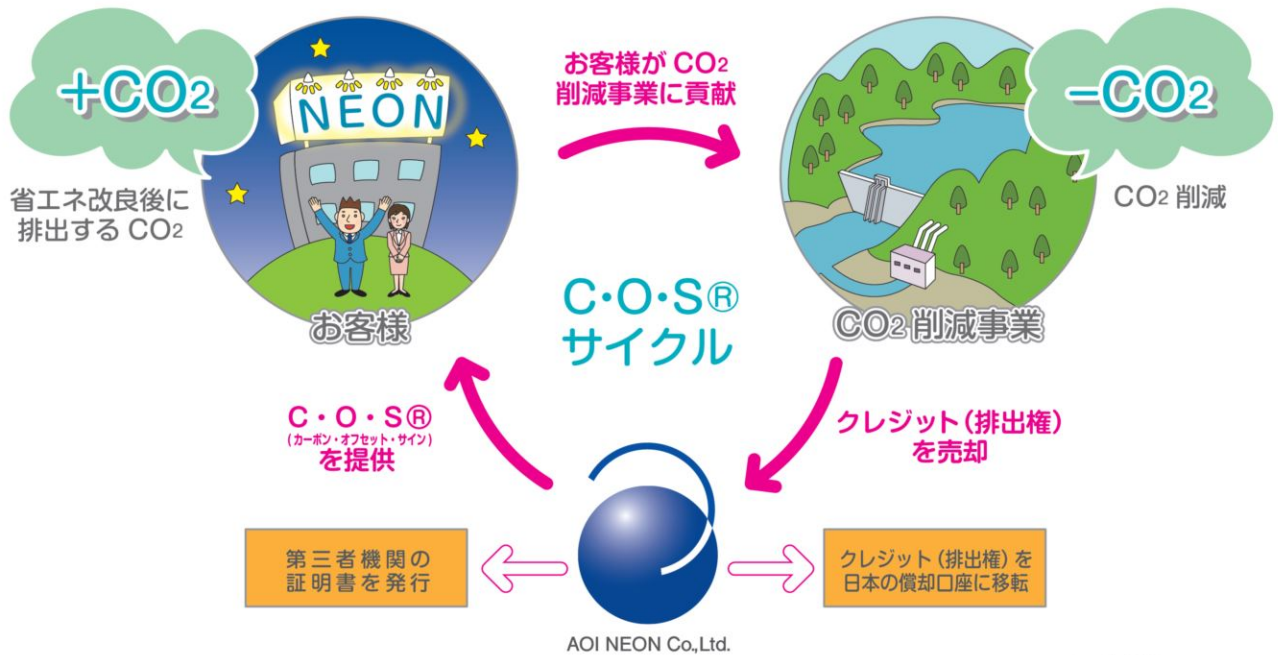
CO₂排出ゼロ



カーボン・オフセットの仕組み



サービスの概要 (C・O・S®サイクル)



アオイネオン株式会社 TeamC・O・S®
Copyright© 2013 AOI NEON Co.,Ltd. All Right Reserved.

第三者意見

静岡県地球温暖化防止活動推進センタースーパーバイザー
静岡大学人文社会科学部准教授(環境政策)

アオイネオン(株)さんの「C・O・S®」(カーボン・オフセット・サイン)は素晴らしい製品だと思います。LEDの採用や看板内部の反射効率の改善により電力消費量を大幅に削減するとともに、それでも使用しなければならない電力を起源とする二酸化炭素排出量は、カーボン・オフセットの取り組みにより相殺する。これは環境省の推奨するカーボン・オフセットの指針にもびったりあった取り組みで、「C・O・S®」を採用した企業や事業者の方は、社会的に高く評価されていると思います。

ただ残念なのは、広告塔や看板を見ただけでは、それが「C・O・S®」とはわからないこと。アオイネオン(株)や「C・O・S®」を採用した企業や事業者の方は、近くに説明プレートを付けたり、広報媒体やCSRレポート等に記載するなどして、そのことを積極的にPRしてもらいたいと思います。自らの価値ある取り組みをより多くの人に知ってもらうことは、もう一段深い社会貢献になります。今後とも、「C・O・S®」を通じたカーボン・オフセットの取り組みが広がっていくことを期待します。



水谷 洋一

ご意見をいただいて

静岡本社 CSR担当 荻野 隆

この度は貴重なご意見をお寄せいただきまして有難うございました。事業活動を通じたCSRの一つとして「C・O・S®」をお客様にご提案しております。看板のCO₂排出を最小限に抑え、カーボン・オフセットで継続的に環境配慮を実感していただけるサービスとして、ご採用いただいたお客様に喜んでいただけるよう、また、より多くのお客様を通じて、カーボン・オフセットの取り組みが広がるように努力して参ります。

省電力化の取り組み No.1

サインに使用する光源は
LED を採用

LED照明は省電力、長寿命な光源としてサインの光源としても注目されています。

光色や形状のバリエーションも豊富にあるので、デザイン、用途に応じて自由度の高い演出が可能です。

LED使用の3減則

減

消費電力

少ない電力で
高輝度の
照射が
できます。

減

CO₂
排出量

地球温暖化
の原因となる
CO₂ 排出量を
削減します。

減

メンテナンス
回数

抜群の
長寿命で、
交換回数が
減ります。



導光板を併用したポスターパネル

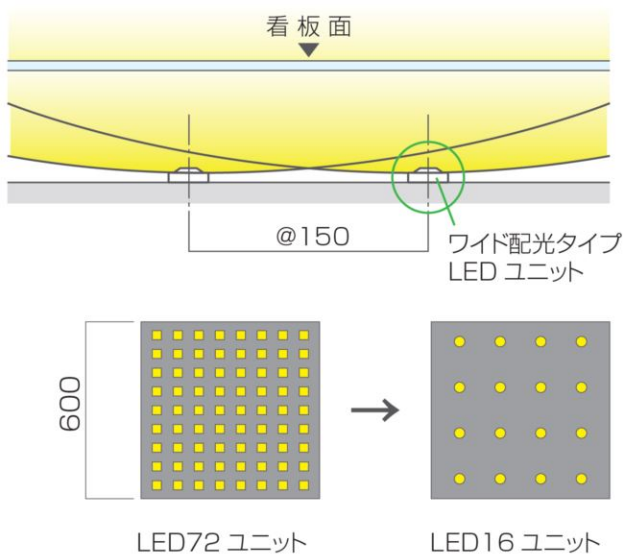
導光板とは？

側面から入れた光を拡散させ、表面に均一の光を出す特殊な板です。LEDと組み合わせることで、省電力、省スペースになる環境性に優れた発光パネルです。



ワイド配光型 LED ユニットによる省電力化

より広がりのある光により、少ないLED 粒数でも均一な表示面の照射が可能となります。



省電力化の取り組み No.2

光源の選択で省電力化

蛍光灯やネオン管は、今もなおサインに多く使用される光源材料であるからこそ、環境に対する配慮は、よりいっそう重要となります。常に先入観にとらわれず、状況に応じた省電力化のご提案をさせていただきます。

蛍光灯のランプは長寿命タイプを、安定器は省電力タイプを推進しています。

長寿命 ロングライフ蛍光管

〈定格平均寿命〉 40wの場合
通常の蛍光ランプ **12,000時間**

およそ **20,000時間** ※1

1.7倍の寿命で、**取替コストの削減**と廃棄物の減量ができます。

※1 使用条件によりこの限りではありません。

省電力 インバータ式看板器具

防水型電子安定器の使用で

CO₂ 削減量 -38.4 (kg-co₂/年)

消費電力 **37.8%ダウン**

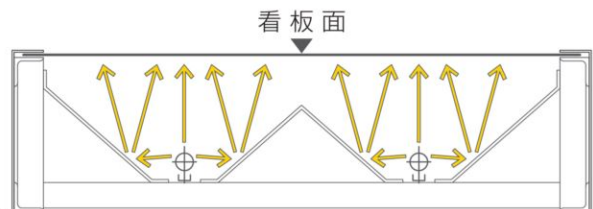
防水型電子安定器は鋼鉄型安定器と比較して、消費電力(AC100V使用)が36.5%少ないため、たいへん経済的です。

高効率照射で消費電力をさらにダウン

看板自体の構造にもひと工夫。反射板を設置して看板内部の照射効率を上げて、極力少ない蛍光灯数で均一に看板面を発光させます。

反射板の仕組み▶

看板内部に白色の鉄板を入れて光の反射を利用して拡散させます。



省電力化の取り組み No.3

再生可能エネルギーの利用

自然界に存在し、繰り返される現象であるエネルギーを利用します。その代表的な「太陽光」と「風」を利用した発電システムです。システム自体もCO₂排出量を抑えることができる、環境にやさしいシステムです。

太陽光発電装置



太陽光発電装置

太陽光のエネルギーを直接的に電力に変換する発電方式です。装置の構成材料の大部分がリサイクル可能で、原子力発電の様に、放射性廃棄物になることもありません。

風力発電装置

風のエネルギーによって発電する方式です。太陽光発電装置と同様に、放射性廃棄物になることもありません。

看板診断システム『看板ドクター』でお客様に『安全』と『安心』を提供します。

屋外に設置されている看板は、長い間風雨に晒され、鉄部に錆が発生して腐蝕していきます。特に看板内部の腐食は、通常の目視調査だけでは発見できないケースが多く欠陥が判明したときにはすでに落下や倒壊事故が起きていたということも考えられます。

看板を長期的に良好な状態で維持する為には定期的とその現状を正確に把握する必要があります。

看板診断システム『看板ドクター』は、訓練された検査員が様々な検査機器や特許取得の検査方法によりお客様の看板を検査いたします。その結果、通常の目視調査に比べ調査の精度が格段に高くなり、看板の劣化状態や欠陥を早期に把握することが可能になります。



検査機器により外観からは判断できない部分の状況を確認します。
特許取得の検査システムで、より安全に短時間で検査し、お客様の負担を減します。

内視鏡カメラスコープ



赤外線サーモセンサー



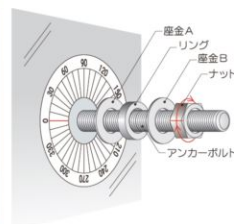
超音波厚さ計



アンカードクター（アンカーボルト引き抜き検査）

特許第3779722号 商標登録第503991号

既存アンカーボルトに特殊検査リングを装着し、締め付けることで発生するひずみを測定します。看板を取り外さずに引き抜き検査が可能です。



ツリーテスター（埋設基礎検査）

特許第4440331号
商標登録第5290427号

設計図や構造計算書が無くても、基礎の診断が可能です。

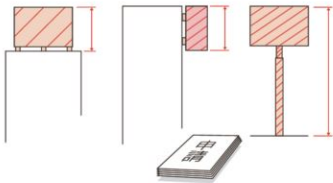


法令チェックを怠りません。

看板の高さは大丈夫ですか？

看板の高さが4mを超えた場合は「**工作物確認申請**」による構造の審査が必要です。

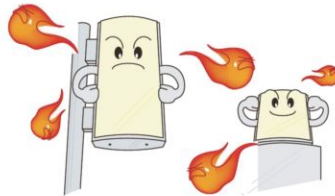
(建築基準法第88条)より



防火地域の規制をご存知ですか？

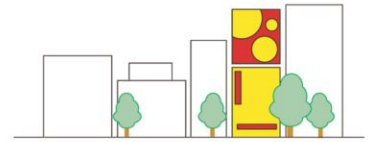
防火地域内にある看板、広告等で、建築物の屋上に設けるもの、又は高さ3mを超えるものは、主要部分を不燃材料で造るか、又は不燃材料で覆わなければなりません。

(建築基準法第66条)より



看板の色合い・大きさは大丈夫ですか？

都道府県で定められた「**屋外広告物条例**」・「**都市景観条例**」によって、届出が必要な場合があります。地域によっては、色合い・大きさなどが制限されます。



※該当する法令の一部を抜粋しています。

「電子カルテ閲覧サービス」による看板管理の一元化

お客様が Web 上で自社の看板に関する最新情報をいつでも入手可能です。「カルテ」の更新は全てアオイネオンが行いますので、お客様の煩わしい作業はありません。店舗内外や周辺状況等の確認もカルテ閲覧により可能です。

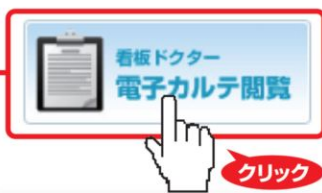
カルテ管理

定期点検・診断で得られた看板の情報をデータ化し、常に最新の状況を把握します。

【電子カルテ】



ホームページからのログイン方法



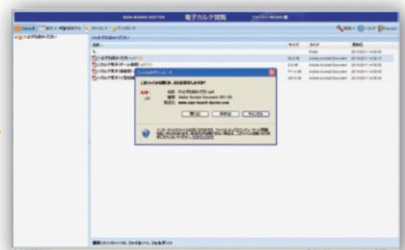
お客様専用 ID・パスワードで、お客様専用ページのみ閲覧可能



アオイネオン株式会社ホームページ



カルテ閲覧用ログイン画面



ダウンロード画面



組織統治・公正な事業慣行

Organizational Governance · Fair Operating Practices

高い倫理観に基づいて行動することにより
社会から信頼される企業であり続けます。

Point

- ▶ アオイネオンの従業員全員が共通の価値・行動の基準で業務を遂行できるよう「倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」を制定しています。
- ▶ 全ての事業所において専任技術者を配置し、専門に必要な許可を取得しています。
- ▶ 『情報セキュリティ基本方針』のもと、情報資産保護・管理強化に取り組んでいます。

アオイネオンの CSR 経営^{*}

企業理念の具現化のため「CSR 経営ビジョン」および「CSR 重点課題」を掲げて CSR 経営を実践していきます。
CSR 経営により当社は、社会的価値である、より良い社会創造・法令遵守・情報伝達・地域の活性化を約束し、社会から支持される「価値ある企業」を目指します。

アオイネオン企業理念

心、情報、光にカタチに

私たちは、「情報を的確に伝える」「お客様の心が伝わる」サインをつくることを目指します。

企業理念の具現化

企業価値の向上

CSR 経営ビジョン

美しい都市景観の創出

遵法で安全なサインをつくり景観形成に寄与します。

CSR 重点課題

コンプライ
アンス

地域社会
との共生

品質の
向上

環境保全
活動

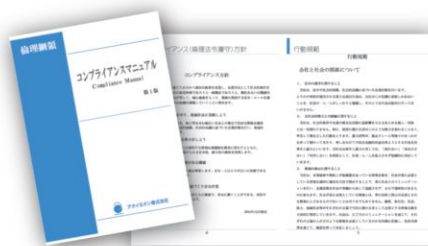
労働安全
衛生管理

社会的
課題への
取り組み

^{*} "Corporate Social Responsibility" の略で「企業の社会的責任」（企業が果たすべき社会的責任）と一般では訳される。

「企業倫理に関する方針」「行動規範」の制定

当社では2005年に「コンプライアンス方針」を制定し公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たすことに取り組んできました。また、コンプライアンスの徹底には、一人ひとりが、自らの行動をコンプライアンスの観点から確認して、業務に取り組むことが必要です。CSR委員会を中心に論議を重ね、行動規範を定めた「倫理綱領」を作成し全従業員に配布するとともに教育を実施し、CSR経営の重要性と、その土台となるコンプライアンス意識の浸透を図りました。



倫理綱領(コンプライアンスマニュアル)

コンプライアンス方針に基づく企業活動の推進

当社は企業活動を通じて公正かつ適切な経営を実現し、企業市民として社会的責任を果たします。そのためには経営幹部であろうと一般職員であろうと、職位あるいは職務内容にかかわらずみなが等しく、誠心誠意をもって、業務に関連する法令・ルールを遵守し、より一層倫理的な組織を構築していくことに努めます。

コンプライアンス方針 (2004年12月制定)

1 法令・ルールを守り、地域社会に貢献しよう

私たちは顧客、取引先、株主等を含む幅広い社会との健全で良好な関係を維持するとともに法令や社会的規範、社会的良識に基づいた企業活動を行い、地域社会発展の一翼を担います。

2 お客様に喜ばれる努力をしよう

私たちはお客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たすとともに、お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性の確保を実現します。

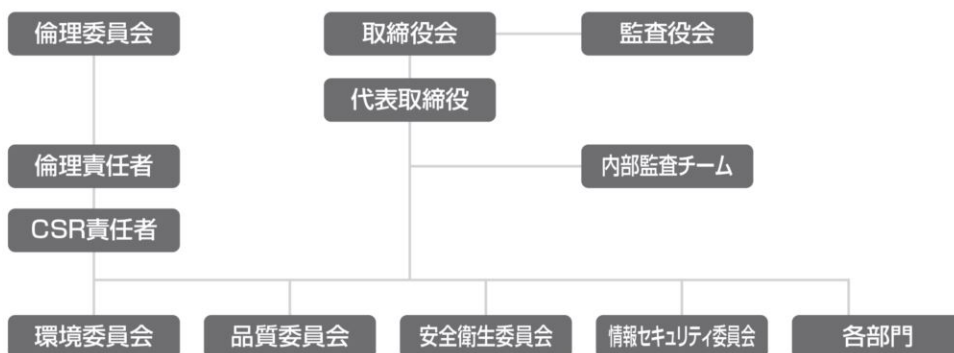
3 みんなで創ろう笑顔のある職場

私たちはすべての人々の人権を尊重します。また一人ひとりが互いに信頼できる健全な職場環境をつくります。

4 一人ひとりの心がけ健康づくり安全作業

私たちは社員一人ひとりが心身ともに健康で、安全に働くことができる、事故や災害のない職場づくりを目指します。

社内体制



- ① **コンプライアンス委員会 (倫理委員会)**: 倫理法令遵守に関する全社の方針の作成、マネジメントシステムの見直しなどを行う。事務局はCSR委員会内に置く。
- ② **コンプライアンス責任者 (倫理責任者)**: 倫理方針の推進に取り組む最高責任者。
- ③ **CSR委員会**: コンプライアンス委員会の事務局を努め、倫理法令遵守に関する日常的な業務を行う。たとえば、方針の管理と改訂作業状況に応じた計画の見直し、報告相談業務、社外とのコミュニケーション、実施状況の把握と報告。

ライセンスレポートによるご説明

お客さまに安心してご発注して頂くために、
工事に必要な許認可や資格について事前にご説明しております。

また、「ライセンスレポート」により弊社の
許認可取得状況、専任技術者、有資格者等
の有無についてもご確認いただけます。



ライセンスレポート「建設業許可」編、「屋外広告業」編

建設業許可と専任技術者

個人・法人などの形態や、商社・代理業などの業種を問わず、500万円以上の建設工事を請負う場合は、本社・支店・営業所など全ての拠点で建設業許可が必要です。建設業許可には、28種の業種があり、工事を行なう場合、その物件の主要な部分に該当する建設業許可が必要となり、該当する種類以外の建設業許可では、業務を行なえません。

アオイネオンでは、本社支店全ての事業所で、以下の建設業許可を取得しており専任技術者を常駐させています。

建設業許可一覧

建設業の種類	広告業として請負いする工事内容	建設業の許可番号
鋼構造物工事業	鋼材を加工又は組立し工作物(広告物本体)を築造する工事	特-24 第19713号
内装仕上工事業	館内サインを設置する工事	
建築工事業	建築工事業全般	
とび・土工工事業	工作物(広告物)の基礎工事 足場の組立工事 工作物の解体工事 重量物の運搬設置	般-24 第19713号
塗装工事業	塗装を工作物(広告塔の鉄骨など)に塗付する工事 フィルムシートや出力シートなどを広告物に貼付けする工事	般-24 第19713号
電気工事業	電材を設置又は取替える工事 (ネオン管、LED照明、投光器など)	
板金工事業	広告塔等の表示板面の取替え工事 チャンネル文字の設置や取替え工事	般-24 第19713号

技術者 (静岡・東京・大阪)

一級建築士	1名
二級建築士	3名
一級建築施工管理技士	5名
二級建築施工管理技士	10名
二級電気工事施工管理技士	5名

2013年11月 現在

屋外広告業の登録

●全国108ヶ所全ての都道府県、政令市、中核市で屋外広告業の登録済

屋外広告を施工する者は、工事を行う場合の自治体への登録がなければ、施工ができません。元請、下請に関わらず全ての業者に登録が義務付けられており、建築工事などの一部として屋外広告を設置する業務を請け負った場合でも登録が必要です。弊社では、すべての地域において各事業所ごとに業務主任者を専任し登録が完了しております。

●各事業所に在籍する屋外広告士 (静岡・東京・大阪) 22名

※その他、各事業所に屋外広告物講習会修了者(9名)が在籍しております。 2013年11月 現在

情報セキュリティ

アオネオンでは、技術や情報、お客様や社員に関わる情報は貴重な資産であるとの認識のもと「情報セキュリティ基本方針」を策定し、情報保護・管理強化に取り組んでいます。「情報セキュリティ委員会」のもと情報セキュリティ管理責任者と推進事務局を設置しています。活動の推進にあたっては、情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格（ISO/IEC27001）に基づく管理体制を構築し、継続的なレベルアップを図っています。



大阪支店でISO27001の認証を取得しています。

情報セキュリティ基本方針（2010年9月制定）

① 目的

当社は情報を的確に伝えるサイン、お客様の心が伝わるサインを造り続けること、それを経営理念として「心、情報、光にカタチに」のキャッチフレーズに込めています。当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、取り扱う情報資産の適切な保護対策を実施する事により、お客様の信頼確保及び事業損失を最小限に留めることを目的として、この「情報セキュリティ基本方針」を定めます。私たちは、ISO27001に準拠した「情報セキュリティマネジメントシステム」を構築し、お客様からお預かりした情報をはじめ、当社が取り扱う情報を重要な資産として保護・管理する事でセキュリティに関するインシデント（事件・事故）の防止を図ります。

② 情報セキュリティの定義

情報セキュリティとは、機密性、完全性及び可用性を確保し維持することをいう。

- (1) 機密性：情報を漏えいや不正アクセスから保護すること。
- (2) 完全性：情報の改ざんや間違いから保護すること。
- (3) 可用性：情報の紛失・破損やシステムの停止などから保護すること。

③ 適用範囲

【組織】：アオネオン株式会社

【業務】：サインボード並びにそれに付随する銘板の設計、建設、据付、メンテナンス及びサインボードの検査、診断業務

【資産】：上記業務、サービスに関わる書類、データ、情報システム

④ 実施事項

- (1) 適用範囲の全ての情報資産を脅威（漏えい、不正アクセス、改ざん、紛失・破損）から保護するための情報セキュリティマネジメントシステムを確立、導入、運用、監視、見直し、維持及び改善するものとする。
- (2) 情報資産の取り扱いは、関係法令及び契約上の要求事項を順守するものとする。
- (3) 重大な障害または災害から事業活動が中断しないように、予防及び回復手順を策定し、定期的な見直しをするものとする。
- (4) 情報セキュリティの教育・訓練を適用範囲すべての従業員に対して定期的実施するものとする。

⑤ 責任と義務及び罰則

- (1) 情報セキュリティの責任は、代表取締役が負う。そのために代表取締役は、適用範囲の従業員が必要とする資源を提供するものとする。
- (2) 適用範囲の従業員はお客さま情報を守る義務があるものとする。
- (3) 適用範囲の従業員は、本方針を維持するため策定された手順に従わなければならないものとする。
- (4) 適用範囲の従業員は、情報セキュリティに対する事故及び弱点を報告する責任を有するものとする。
- (5) 適用範囲の従業員が、お客さま情報に限らず当社が取り扱う情報資産の保護を危うくする行為を行った場合は、社員就業規則に従い処分を行うものとする。

⑥ 定期的見直し

情報セキュリティマネジメントシステムの見直しは、環境変化に合わせるために定期的実施するものとする。



環 境

Environment

地域環境の保全是21世紀を生きる企業の使命です。



- ▶ ISO14001 に従って外部審査員による環境監査と、社内監査員による定期監査を実施し、環境マネジメントシステムの適正な運用に努めています。
- ▶ 事業所ごとに環境計画を策定し、従業員の意識向上と環境活動の改善を図っています。

アオネオンの環境方針

アオネオンは2001年に「環境問題改善プロジェクト」をスタートさせ、「アオネオン環境方針」のもと環境保全活動に着手しました。また2009年には国際環境規格ISO14001を全事業所・工場で認証取得するなど、事業活動に伴い発生する様々な環境負荷の低減に向けた取り組みを進めてきました。今後も「全ての事業決定において環境に配慮する」という新たな方針のもとさらに積極的な取り組みを進めていきます。

アオネオン環境方針 (2001年6月制定 2005年8月改訂)



当社は屋内外における情報伝達メディアであるサインの製作にあたり、すべての事業決定において地球環境への配慮を実現し、社会的責任を果たすことを目指します。そのために環境マネジメントシステムを継続的に改善し、汚染の予防と環境パフォーマンスの向上に努めます。また、環境関連法令、その他の要求事項を遵守し、地域社会との協調に努めます。

特に下記項目を環境目的として取組んでまいります。

1. 資源・エネルギーの節減
2. グリーン購入の推進
3. 産業廃棄物の削減

この方針は組織のために働くすべての人に周知し、広く一般に開示します。



東京・静岡・大阪の全事業所・工場でISO14001の認証を取得しています。

環境マネジメントシステムへの取り組み

当社が環境保全に関わる活動を推進するに当たり、環境に関連する方針や目標を設定し、これらの達成に向けて取り組んでいます。

ISO14001規格に従い環境マネジメントシステムを運用し、定期的に外部審査、内部監査を実施しています。外部審査では毎年の定期審査、3年毎の更新審査でシステムの適合性と有効性の審査を受けています。



外部審査機関による審査の様子

主な環境影響と保全活動

製品を製造しお客様に提供するまでに、資源やエネルギーの消費、産業廃棄物の発生やCO₂の大気への排出など環境に負荷を与えています。私たちは事業活動にともなう環境への負荷を正しく認識し、持続可能な地球環境のために省エネ・省資源、廃棄物削減などの環境保全活動を推進していきます。



社内における環境教育の実施

従業員の環境保全活動への理解と環境意識の向上を目的に部門毎に、定期的な環境教育を実施しています。環境管理責任者を中心とした各事業所のスタッフが全従業員に地球環境問題、事業所の目標、各自の役割などを分かりやすく解説しています。



エコで快適な職場づくりに取り組んでいます

大阪支店 営業アシスタント
佐野史子

環境ISOを通じてCO₂の排出削減や産業廃棄物の削減等に取り組み、私達の仕事が地球規模の環境や地域の環境に関わっていることを知りました。

職場では事務所内にポスターを掲示して意識を高めたり、エコキャップ運動や季節に応じてクールビズやウォームビズに取り組んでいます。

よりエコで快適に過ごすためのちょっとしたアイデアをプラスして、これからも環境保全に努めていきたいと思っています。

2012年度 環境目標に対する実績

日々の活動から可能な限り環境への負荷を低減させるため、環境目標を明確化するとともに、目標に定量性を持たせています。未達成の項目に対しては改善目標を設定し具体的な対策を講じます。目標達成した項目も合わせ継続的な環境負荷の低減に取り組んでいます。

静岡本社

期間：2012年8月～2013年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	① 産業廃棄物の削減 (産廃処分量/工事売上 100万円)	2011	0.1 m ³	0.14 m ³	×
資源・エネルギー使用量の削減	① CO ₂ 排出量の削減 (電気・ガソリン・軽油・ガス・水道使用量)	2011	96,511 kg-CO ₂	108,837 kg-CO ₂	×
グリーン購入の推進	① 照明にLEDを使用した製品を提供する (LED照明使用物件/照明有りの物件)	2011	77.5%	79.1%	○
	② 汎用品でのグリーン購入 (グリーン購入量/汎用品購入量)	2011	87.9%	89.0%	○
法規制の遵守	① 環境法規制及びその他の要求事項の順守	—	—	—	○

東京本社

期間：2012年8月～2013年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	① 産業廃棄物の削減 (産廃処分量/工事売上 100万円)	2011	0.084 m ³	0.034 m ³	○
資源・エネルギー使用量の削減	① CO ₂ 排出量の削減 (電気・ガソリン・軽油・ガス・水道使用量)	2011	48,913 kg-CO ₂	54,363 kg-CO ₂	×
グリーン購入の推進	① 照明にLEDを使用した製品を提供する (LED照明使用物件数/照明有りの物件数)	2011	60.0%	85.0%	○
	② 汎用品でのグリーン購入 (グリーン購入量/汎用品購入量)	2011	65.0%	65.5%	○
法規制の遵守	① 環境法規制及びその他の要求事項の順守	—	—	—	○

大阪支店

期間：2012年8月～2013年7月（1年間）

項目	基準年	目標値	実績値	評価	
産業廃棄物削減	① 産業廃棄物の削減 (産廃処分量/工事売上 100万円)	2011	0.361 m ³	0.020 m ³	○
資源・エネルギー使用量の削減	① CO ₂ 排出量の削減 (電気・ガソリン)	2011	20,675 kg-CO ₂	17,050 kg-CO ₂	○
グリーン購入の推進	① 照明にLEDを使用した製品を提供する (LED照明使用物件数/照明有りの物件数)	2011	31.0%	59.0%	○
	② 汎用品でのグリーン購入 (グリーン購入量/汎用品購入量)	2011	85.0%	90.0%	○
法規制の遵守	① 環境法規制及びその他の要求事項の順守	—	—	—	○

環境会計

アオネオンでは環境会計を、環境経営の定量的指標のものさしとして捉え、環境保全活動に関わる投資額や費用額、また環境保全効果や経済効果を把握して評価することにより、効果的な取り組みを図っています。

環境保全コスト

2012年度の環境保全コストは投資、費用あわせて3,503,794円を投入しました。

(円)

分類 (注1)	投資額 (注2)	費用 (注3)	事例
地球環境保全、公害防止コスト	0	178,858	浄化槽点検清掃、作業環境測定値他
資源循環コスト	0	1,536,336	廃棄物処理委託、省資源
管理活動コスト	0	1,673,600	環境教育、廃棄物管理、保管庫、書籍他
社会活動コスト	0	115,000	地域貢献
環境損傷対応コスト	0	0	なし
合計	0	3,503,794	

(注1) 環境省「環境会計ガイドライン」における環境保全コストの分類
 (注2) 投資額とは環境保全を目的とした設備投資
 (注3) 費用には環境保全活動に費やした維持運営管理費等が含まれます。

対象期間：2012年8月1日～2013年7月31日
 対象サイト：静岡本社、東京本社、大阪支店
 参考書：環境省環境会計ガイドライン他

環境保全効果

効果については事業実績に対する削減量を基準として前年度より環境負荷がどれだけ改善されたかを捉えています。産業廃棄物に関しては5.96㎡の削減、電気使用量に関しては49,697kwhの増加、燃料消費量に関しては7,533リットルの増加となり、経済効果としては▲1,764,539円となりました。

内容	削減効果				経済効果	
	※1 2011年度	※2 2012年度	削減量	単位	内容	金額(円)
産業廃棄物の削減	122.54	116.58	5.96	㎡	分別による削減	59,600
事業所内使用電気量の削減	123,097	172,794	▲49,697	kwh	節電による削減	▲844,849
燃費消費量の削減	27,460	34,993	▲7,533	ℓ	エコドライブによる削減	▲979,290

※1 2012年度事業実績に換算した値 ※2 2012年度実績



人権・労働慣行

Human rights · Labor practice

安全で快適な職場環境づくり

Point

- ▶ 定期的の実施状況を評価し、フォロー・改善を実施する事で安全衛生水準の向上を図っています。
- ▶ 災害時に可能な限り円滑な活動が行えるよう、総合的な防災対策を実施しています。
- ▶ 社員一人ひとりの人格や個性を尊重しつつ、豊かさと達成感が実感できるような人事制度や労働条件の維持向上に努めます。

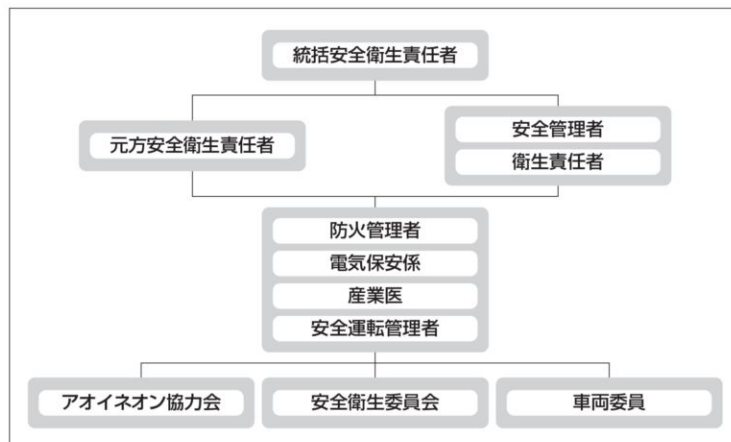
安全衛生委員会 2012年度目標と結果

当社における労働災害は、長年にわたる安全活動のなかで低減してきています。継続的な改善を目指すため、安全衛生目標を設定し、当該目標において一定期間に達成すべき到達点を明らかにし目標達成の度合いを客観的に評価できるようにしています。残念ながら達成出来なかった目標については、原因を究明し次年度の改善に結びつけます。

期間：2012年8月1日～2013年7月31日
対象：全拠点

	2012年度目標	施策	2012年度結果
交通事故	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数 0件 ● 軽微な事故発生件数 2件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過去3年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する ▶ 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数 0件 ● 軽微な事故発生件数 2件
物損・労働災害	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数 0件 ● 軽微な事故発生件数 4件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 過去3年間に事故を起こした社員を対象に教育を実施する ▶ 事故発生後、委員会で原因を究明、対策を検討、実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大な事故発生件数 0件 ● 軽微な事故発生件数 4件

安全衛生委員会の主な活動と組織体制



安全衛生委員会

毎月1回

安全パトロール

毎月1回

KY(危険予知)ミーティング

現場作業開始前

産業医工場巡視

毎月1回

作業環境測定

年2回

安全パトロール

定期的に各工事現場のパトロールを行っています。毎日の作業開始前のKY(危険予知)ミーティングと合わせて作業現場での安全確認を怠りません。協力会社を含めて安全最優先で施工を進めるため日々取組んでいます。



KY(危険予知)ミーティング



静岡本社 製造部課長
渥美 安弘

車に乗る前には気持ちの整理を忘れずに

優良運転者(32年間無事故・無違反)

静岡県内での交通事故が昨年よりも多く発生しています。事故類型別発生状況では、車両では追突、人身では横断歩道での事故が一番多く、原因は前方不注意によるものです。特に脇見運転や運転中の携帯電話などには注意して欲しいと思います。

私が普段から心がけているのは、運転中「譲り合い」の気持ちを持ち続けることです。他の車に進路を譲ったときの心境は気持ちにゆとりがありました。いつもこのような気持で運転が出来たら事故は減るのではないのでしょうか。

職場の安全対策については、車両委員のメンバーで毎月、車両点検を実施し、タイヤの点検や車内の整理整頓にも注意し、いつ誰が乗っても快適な運転が出来る状態であることを心がけています。

最後に、車に乗る前には気持ちの整理も忘れずに。

作業環境測定

労働安全衛生法により、有害な業務を行う屋内作業(粉じん・騒音・有機溶剤などの作業)について、作業環境測定を行う義務が課せられています。当社では従業員の安全と健康を守り、快適な職場環境を確保するため定期的に作業環境測定機関による測定を実施し、職場環境の維持・向上に努めています。



塗装室 空気汚染測定



ネオン室空気汚染測定

緊急事態への対応

火災や大規模地震などの緊急事態が発生した場合に備え、防災体制を定め運用しています。定期的な防災訓練及び防災設備の点検を実施し、緊急事態発生時に人的安全の確保及び円滑な防災活動を行えるように体制を整えています。



東京本社

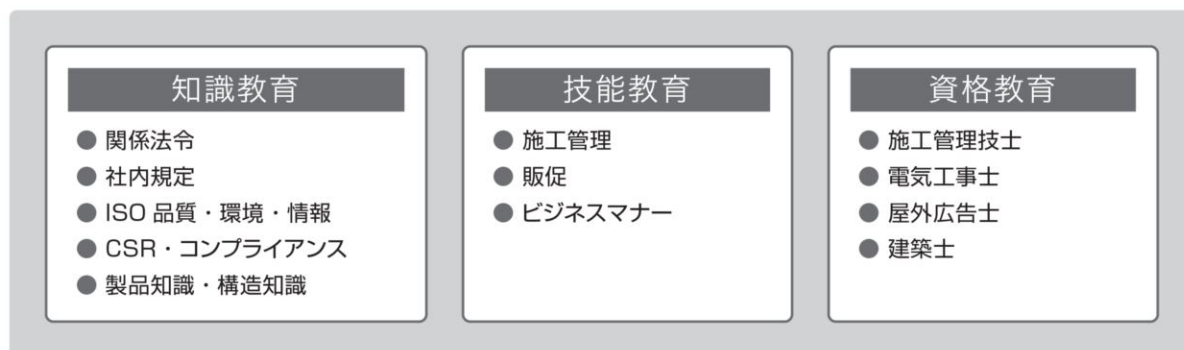


静岡本社

人材育成の考え方

多様な個性を持つアオイネオンの社員一人ひとりが、共通の価値観を持ち、事業そして社会に貢献できる人材に成長するため、様々な能力開発の機会提供に努めるとともに、公平・公正に評価される制度づくりに取り組みます。

人材教育の仕組みである「資格・教育プロジェクト」は、ビジネスパーソンとしてのベース・共通能力の育成、幅広い専門能力の育成、自己啓発支援等のプログラムで構成されています。



「資格取得支援制度」で社員のプロフェッショナル化を支援

アオイネオンは、社員一人ひとりがお客様により付加価値の高いサービスを提供できる“プロフェッショナル”となることを目指しています。その実現に向けた社員各人の自主的取り組みを支援する為、対象資格取得に成功した社員に受験費用の援助や報奨金を支給する「資格取得支援制度」を導入しています。現在、資格取得が業務に役立つと認定された48種類の資格取得を奨励しており、その取得難易度や業務への貢献度により支給額を設定しています。この制度が一層の自己研磨に励む刺激となり、多くの社員が資格取得に挑戦しています。

主な資格		
一級建築士	一級電気工事施工管理技士	あと施工アンカー第一種施工士
二級建築士	二級電気工事施工管理技士	あと施工アンカー主任技士
一級建築施工管理技士	第一種電気工事士	
二級建築施工管理技士	第二種電気工事士	
屋外広告士	ネオン工事士	

表彰制度

従業員(委託・パートを含む)に対し、会社の業績・知名度向上への貢献、国家資格等の専門能力が求められる資格を取得した社員を対象とした表彰制度があります。

表彰制度を行うことで、会社と社員との信頼感、指導や教育によって改善することが出来ない自発的な意欲を高めることを目的としています。



優良運転者の表彰

基本的人権の尊重に対する取り組み

人権の尊重に関する方針

アオネオンは社員一人ひとりの人格や個性を尊重しつつ、豊かさや達成感が実感できるような人事制度や労働条件の維持向上を目指しています。「アオネオン倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」では、法令順守はもとより、基本的人権を尊重し、あらゆる差別的取り扱いを受けない健全な職場環境を確保すること、問題発生時には迅速に調査し、被害者の救済と再発防止に向けた断固とした処置をとることを行動規範として明示しています。

個人情報保護

個人情報については、利用目的ごとに同意を得て取得・利用し、総務部門を中心に厳重に管理しています。コンピューターウィルスや不正アクセス等による情報の漏洩を未然に防ぐため、個人情報を扱う上で人権の尊重、安全への配慮に基づいた情報モラルの向上を図っています。

セクシャルハラスメント、パワーハラスメントの防止

アオネオンでは「アオネオン倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」で、役員・従業員の行動規範として、個人の多様な価値観・個性・プライバシーを尊重し、人種・宗教・性別・心身障害・年齢などに関する差別的言動や、暴力行為、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントを認めないことを定めています。

人権を尊重する為の教育

CSR委員会が中心となって「アオネオン倫理綱領（コンプライアンスマニュアル）」を全社員に周知徹底しています。入社教育のみならず、年間教育プログラムにも自覚教育として組み込み、従業員への人権尊重意識の浸透を図っています。

ワーク・ライフ・バランスの推進

働き方の見直し

従業員一人ひとりが「より少ない時間で高い成果を生み出せる」環境を整えることは、企業にとって重要な取り組みです。業務改善や自己研鑽により創出した時間を更にインプットの時間として有効活用する、といった好循環を生み出し、仕事の生産性や質の向上につなげていくことが必要です。週1日『ノー残業デー』を設定し時間外労働の削減に努めています。

内閣府が推進する『カエル！ ジャパン』キャンペーンに参加しています。

アオネオンのスローガン『みんなで創ろう笑顔のある職場』のもと、働く人が仕事上の責任を果たそうとすると、仕事以外の生活でやりたいことや、やらなければならないことに取り組みなくなるのではなく、両者を実現できる職場づくりに取り組みます。



産 業 医 か ら

秋山クリニック 院長 秋山 征巳

産業医の秋山です。

定期的な健康診断の結果を受け必要なアドバイスをさせていただき、最近多く見られるメンタルヘルスのケアや希望者には禁煙指導なども行います。

職場環境の改善と健康状態の維持・向上のための「予防活動」と、組織や働く人々の活性化を図り、生き活きた職場を形成するための「健康増進活動」を通じて、働きやすい職場環境作りに協力していきたいと考えています。



お客様への対応

Consumer issues

『お客様から選ばれる企業』を目指し品質向上に取り組めます。

Point

- ▶ 全ての事業所・工場で ISO9001 の認証を取得しています。
- ▶ 内部監査と外部監査を定期的実施し品質保証体制の維持・改善を継続的に
行っています。
- ▶ 「資格・教育プロジェクト」により、しっかりとした知識や技能を備えた人材育成
注力しています。

アオイネオンの品質方針

お客様に安全な製品を提供していくためには、製品の品質を管理するための仕組みの整備が不可欠です。当社では創業以来、独自の品質管理の仕組みを構築してきました。その仕組みをさらに強化するために2001年に品質方針を制定し、2009年には全事業所で品質管理システムの国際規格である ISO9001 の認証を取得しました。また、外部審査機関による監査や社内の専門の担当者が各事業所の品質管理状態を確認する品質監査を毎年実施しています。この品質監査の機会を通じて、各事業所における品質改善事例の水平展開をおこない、全社を通じた品質の向上につながっています。

アオイネオン品質方針 (2001年8月制定 2007年8月改訂)

「アオイネオン株式会社の経営理念」

心、情報、光にカタチに

基本方針

1. お客様がサインに期待する情報伝達機能を確実に果たします。
2. お客様が安心して掲出を続けられる安全性、耐久性を確保します。

私たちは「製品の品質」に加え「顧客満足」を重要視した「組織の質」の向上を実現するために、絶えず改善を続けます。

品質目標

1. お客様満足度の向上
2. 高品質の製品づくり
3. 安全性と耐久性の確保
4. シェアの拡大

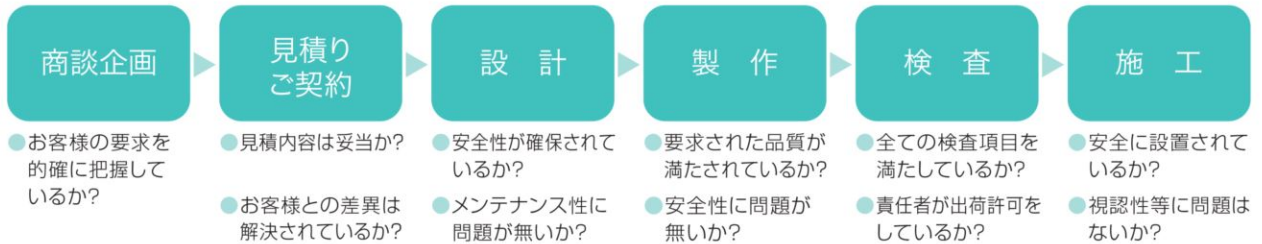


東京・静岡・大阪の全事業所・工場
ISO9001 の認証を取得しています。

すべてのプロセスで品質保証を徹底

アオイネオンの工場で製造される製品には、お客様ごと、物件ごとの製品仕様があり、ご希望ごとに1点1点異なる品質をつくり上げていくことが必要となります。

アオイネオンでは営業・企画・設計から資材調達、製造、施工に至るすべてのプロセスで、全社員が常に「高品質の製品づくり」に取り組んでいます。



品質管理に関する監査

アオイネオンでは「お客様が満足する品質」を実現し続けるために、定期的に社内の監査チームによる内部監査及び社外の審査機関による外部監査を実施しています。監査の対象は、企画設計部門や製造部門に加え営業部門などが該当し、全事業所と工場を含んでいます。監査で発見された不適合は、品質管理責任者から経営層に報告され、業務の改善につなげています。



外部監査（静岡本社）

製品・サービスの品質に関する教育

アオイネオンでは各事業所において、製品・サービス特性に応じた品質教育を定期的に実施しています。

独自の製品・サービスの知識を定着させるため社内試験を実施しています。



社内試験の様子（静岡本社）



良い製品を製作するために
工夫を怠らない

東京本社 製造部
品田 裕

品質の良いモノを現場に納めるために、現場状況に適した材料や工法を選定する事を日頃から心がけております。

最近、受注額が低い物件が多くなり、品質管理にも影響を及ぼしている気がします。ですので、与えられた予算の中で出来る限り良い製品を製作するための工夫を怠らないようにしていきたいです。



コミュニティへの参画

Community involvement

『地域社会とのきずな』を大切に
より良い社会・地域づくりに貢献します。

Point

- ▶ 本年も違反広告物の共同除去活動、「小さな親切運動」のクリーン作戦に参加しました。
- ▶ エコキャップ運動では 26,230 個（ワクチン 30 人分）を提供しました。

東京都 共同違反広告除去活動

本年も東京都が実施している違法広告物の除去活動に参加しました。

目黒区中目黒周辺市街地の違反簡易広告物（貼り紙等）の撤去作業を実施しました。



10月1日 目黒区中目黒



『小さな親切運動』への参加

毎年、『小さな親切運動』に参加しています。本年度は静岡市中心街でのクリーン作戦に参加しました。



9月7日 静岡市中心街



『使用済み切手の収集活動』『書き損じハガキの収集活動』

本年度も心の国際交流事業に参加しました。『使用済み切手』に加え、今回は『書き損じハガキ』の収集にも取り組みました。従業員が持ち寄った、使用済み切手、書き損じハガキを寄付しました。収集された切手とハガキは、小さな親切運動県本部から(財)ジョイセフを通じて換金され、発展途上国の生活改善や医療支援のために活用されます。



TOPICS

ペットボトルのキャップを集めて世界の子供たちにワクチンを届けよう！
『エコキャップ運動』に参加しています。

2008年よりNPO法人エコキャップ推進協会が推進する『エコキャップ運動』に参加しています。ペットボトルのキャップを分別回収し再資源化することにより、CO₂の発生抑制に寄与できると同時に、キャップの売却益で世界の子供たちにワクチンを届けます。社員だけでなく多くの協力業者の皆様にも積極的に協力していただけるようになり、毎年収集量が増えています。本年度は26,230個(ワクチン30人分)を寄付しました。4年間の累計は160,180個(ワクチン195人分)となりました。ご協力ありがとうございました。



静岡本社・大阪支店



東京本社



心、情報、光にカタチに

<http://www.aoineon.com>

アオイネオン株式会社

一級建築士事務所 特定建設業許可（国土交通大臣）
ISO14001:2004（東京・静岡・大阪） ISO9001:2008（東京・静岡・大阪） 認証取得

チャレンジ
未来が変わる。
日本が変わる。 25